

令和元年度 第1回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和元年6月27日(木) 13時30分から14時10分まで	
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室	
議題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて	
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会会長 山川 隆司
	委員	大垣市医師会副会長 沼口 諭
	委員	大垣薬剤師会会長 松本 正平
	委員	大垣市女性連合会長 竹中 昌子
	委員	岐阜協立大学看護学部准教授 馬場 貞子
	委員	西濃保健所長 鷹尾 明
公開区分	公開	
傍聴人	なし	
審議概要	1. 委員長及び副委員長の選出について 「地域医療支援病院に関する委員会設置要綱」の第4条第1項の規定に基づき、委員の互選によって、委員長には大垣市医師会会長の山川 隆司氏、副委員長には大垣歯科医師会会長の片野 雅文氏が選出された。	
	2. 報告事項	
	(1)定例報告事項	
	1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet利用状況について報告した。	
	①紹介率……30年4月～31年3月:68.5% 31年4月～5月:68.5%	
	逆紹介率…30年4月～31年3月:124.7% 31年4月～5月:124.7%	
	②地域連携予約診案件数…30年4月～31年3月計:12,809件 31年4月～5月計:2,140件	
	地域連携予約検査件数…30年4月～31年3月計:1,263件 31年4月～5月計:196件	
	③開放型病床登録医数…元年5月末:160人(医科131人、歯科29人)、利用率…30年4月～31年3月:23.1% 31年4月～5月:8.0%	
	④救急受診患者数…30年4月～31年3月計:40,295人(月平均3,358人) 31年4月～5月計:6,540人(月平均3,270人) 救急車利用件数…30年4月～31年3月計:11,030件(月平均919件) 31年4月～5月計:1,641件(月平均821件)	

	<p>救急入院患者数…30年4月～31年3月計:3,147件(月平均262件) 31年4月～5月計:541件(月平均271件)</p> <p>⑤地域医療従事者に対する研修…30年4月～31年3月開催数:48回、 院外受講者800人 31年4月～5月開催数:5回、院外受講者101人 *病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、がん診療委員会、 介護福祉従事者、学術・ホームページ委員会、大垣薬剤師会研修会 等 市民対象講演会等…30年4月～31年3月開催数:9回、院外受講者248人 31年4月～5月開催数:2回、院外受講者120人 *市民公開講座、糖尿病公開講演会、成人気管支喘息教室</p> <p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…30年4月～31年3月登録総数967件 31年4月～5月登録総数148件 31年5月末時点でのパス開始からの登録総数:8,590件</p> <p>⑦OMNet利用状況…元年5月末時点の利用登録医療機関:106機関 診療情報閲覧に同意した患者総数:21,786人</p> <p>2)上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。</p> <p>(委員)電子カルテが更新されOMNetは使い勝手が悪くなったが。</p> <p>(事務局)東芝のシステムを移行した。更新すると最初は支障が出る、そうした問題と認識している。</p> <p>(委員)OMNetの有料化の話が一時期あったが、それはなくなったのか。</p> <p>(事務局)30点の加算があり、今後、議題に上がることはあるのではないかと思うが、今は凍結されている。</p> <p>(委員)電子カルテに関して、システムが変わることによって微妙な問題があり、今まで見れていたものが見れなくなっていると思う。その策を引き続きお願いしたい。</p> <p>(事務局)業者に早く対応させる。</p> <p>(委員)地域医療従事者に対する研修会、講習会の開催状況について、この病院で実施している多職種研修会を挙げてもらえると嬉しい。</p> <p>(委員)院外専用医薬品について、どんな薬品が院外専用になるのか。</p> <p>(事務局)院外専用は、対象の患者さんが少なく当院で備蓄する必要がないと同意が得られ、薬事委員会で審議し院外対応となった医薬品である。</p> <p>(委員)バルーンが一体化し、シリソジ、蒸留水など、全部ディスポで1パックになったものを患者さん宅に処方してもらいたい。</p> <p>(事務局)泌尿器のバルーンカテーテルについて、院内の現状を把握し在宅になった患者さんに緊急時の対応ができるようにしたい。</p> <p>(2)紹介率向上への取り組みについて</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり</p>
--	--

	<p>報告した。</p> <p>①平成 30 年度の患者さんからの電話予約実績は 889 件で、29 年度から 152 件、率で 20.6% の増加。地域別では大垣市の先生が 8 割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約 4 割を占めており、耳鼻咽喉科、皮膚科の順となっている。元年度の患者さんからの電話予約実績は 5 月まで 120 件で、30 年度 5 月までと比べると、13% 減少している。診療科別としては歯科口腔外科が 47.4%、次に耳鼻咽喉科、皮膚科の順となっている。</p> <p>②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、平成 28 年度から 30 年度までの 3 年間で利用合計は 436 件。診療科別としては、循環器内科が 32.3%、眼科が 20.2% で、この 2 科で 5 割を占めた。元年度の相談件数は 4 月、5 月合わせて 19 件であった。</p> <p>2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。</p> <p>3. その他</p> <p>(事務局) 7 月から、当院とかかりつけ医と協働で診療をしているがん患者さんで、緊急で疼痛・呼吸困難・吐気嘔吐・倦怠感などの症状でマネジメントが必要な患者さんを対象として、緊急緩和ケア病床を導入する。</p> <p>(委員) どこの病棟になるのか。</p> <p>(事務局) 3 病棟などを予定している。</p> <p>(委員) 例え、肺がんとか前立腺がん、脳腫瘍もあると思うが、呼吸器の人であれば呼吸器科の診療科で主治医が決まり、そこから診に行くことになるのか。それとも専属の緩和ケア病棟の医師が診るのか。</p> <p>(事務局) 緩和ケアチームがあり、そのチームが主体で診ていくことになる。</p> <p>(委員) どういう患者さんが合致するのか。</p> <p>(事務局) 容態が非常に不安定化し、入院で処置や投薬の変更を必要とする患者さんなどである。</p> <p>(委員) 市民病院と協働で診なくていいのか。</p> <p>(事務局) 協働で診なくてもいい。</p>
次回開催	令和元年度第 2 回委員会は 8 月 9 日に開催予定とする。